

北九州まちのモビリティフォーラム

～北九州市の移動環境について～

主催：北九州モビリティデザイン研究会



○目的

モビリティプロジェクトの活動内容を発表し、北九州市での自転車利用促進につなげるために行った。

○日時

2019年10月19日土曜日 10:30~15:30

○会場

北九州まなびとESDステーション

○参加者

福岡県庁道路交通政策課

北九州市道路維持課

北九州市総務課
小倉北警察署安全安心課
小倉中央校区米町自治連合会
北九州市立大学地域創生学群
計 16 名

「北九州観光サイクリングマップ作成PJ」(あちゃみ)

自転車に乗ってまちの魅力を発見するツールとして「北九州観光サイクリングマップ」を作成した。

フォーラム当日は、実際に作成したマップを使ってお昼ご飯を食べに行くワークショップを行なった。

ワークショップ後、参加者も交えて作成したマップに関する振り返りを行った。

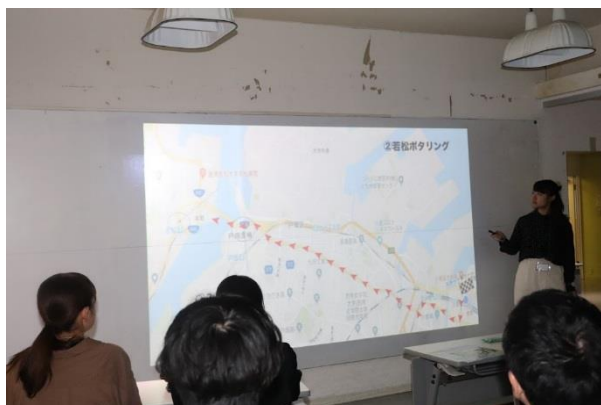
「地図は、信号より建物の方が目印になる」といった地図そのものに対する意見や「メニュー説明があると嬉しい」といったデザイン面の意見など様々な視点からのアドバイスを頂くことができた。



「北九州市を自転車で散策！ポタリングPJ」(ほのか)

ポタリングとは呼吸を乱さない程度で軽くサイクリングすることをいう。ポタリングを行うことで「まちの魅力」や「自転車利用の楽しさ」が感じられると発表した。

「ポタリングを通してコミュニティは生まれるか？」という参加者からの質問に「戸畑でポタリングをしたとき、商店街で買い物をしたら地域の人から話しかけられた。コミュニティが生まれる可能性はあるかもしれない。」と答えた。



「北九州の自転車通勤促進PJ」(ゆっきー)

北九州市の企業を対象に自転車通勤の実態をヒアリング調査した。「北九州市における自転車通勤の現状」と「自転車通勤がもたらす効果」を照らし合わせながら考察し、その内容を発表した。

「本プロジェクトのこれからの展望は何か？」という参加者からの質問に「より多くのアンケートデータを集め、自転車通勤をしやすい環境を整えるために市役所の方と話し合いたい」と答えた。



「ヨーロッパ研修報告」(はんな・とっきー)

モビリティプロジェクトのOGが8月にヨーロッパで現地のモビリティを視察し、その成果を発表した。先進的な事例が多く、楽しみながら発表を聞くことができた。



「堺町公園放置自転車PJ」(まなみ)

「なぜ放置自転車はダメなのか？」という根本的な問いに向き合い続けた。堺町公園にある放置自転車をなくし、公園として機能できるよう働きかけた活動の成果を発表した。

発表後のフリートークの時間では、放置自転車対策として今後取り組みたい内容を市役所の方に提案することができた。

参加者からは「放置自転車を無くそうという考え方ではなく、放置自転車を駐輪場に誘導しよう、という考え方にしていこう。」という意見が出た。



「モノレール駅下駐輪場整備PJ」（あおとうー）

モノレール駅下の駐輪場は綺麗に整備されていないのが現状だ。シルバー人材センターのスタッフに同行して調査を行い、駐輪環境を整える方法を提案した。

「駐輪の意識をどのように植えつけたいか？」という参加者からの質問に「看板の表示を工夫してみたい。」と答えた。



北九州まちのモビリティフォーラム 参加者からの感想

- ・ 普段、自転車を利用しないからとても気持ち良かった（ワークショップ）
- ・ 西小倉に普段行かないから良い機会となった（ワークショップ）
- ・ スタッフが気さくに話しかけてくれたから緊張せず楽しめた
- ・ 自転車で活動することで普段気づかないようなところに目を向けることができた
- ・ 体験型のワークショップと座学の報告会が同時に行われたことで、楽しみながら学ぶことができた
- ・ フォーラムを通して北九州市の交通問題について深く考えることができた
- ・ 「北九州市の自転車事情」という1つの分野においてもこんなにも沢山の視点があるとは知らず、すごく勉強になった
- ・ 学生たちの率直な感想を聞くことができとても参考になった
- ・ 一般の方、特に若い学生の意見や考えを聞ける機会は貴重だから、今後もしこういう会があれば積極的に参加したい
- ・ 各発表、非常に分かりやすかった
- ・ PJの今後の発展が気になるので、また今回のような場を開いてほしい
- ・ 沢山知りたかったから、もう少し時間に余裕があれば良かった
- ・ 地元住民の声も参考になるはずだからセミクローズではなく、オープンにしてフォーラムを開催したら良かった